



## システム アップグレードの準備

---

この章では、実際のアップグレードプロセスを実行する前に注意する必要がある情報を示します。たとえば、さまざまなコンポーネントの一般的なアップグレード方法、アップグレードに関連するコンポーネントのアップグレードリリースバージョン、およびリリースバージョンの互換性について説明します。

この章の内容は、次のとおりです。

- [システム アップグレードのアプローチ](#)
- [システム アップグレードの依存関係](#)
- [アップグレードリリースバージョン](#)



(注)

---

IPT コンポーネントの名前の多くは、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムのリリースの一部として変更されています。このマニュアルでは、以前のリリースの製品を指す場合でも、最新の製品名を使用しています。

---

## システムアップグレードのアプローチ

一般的な方法としては、各 Cisco Unified Communications Manager クラスタ（およびそれに関連付けられているすべての IP テレフォニー コンポーネント）を一度に 1 つアップグレードしてから、次のクラスタをアップグレードします。



(注)

次の URL から、該当するソフトウェアのアップグレード（または新規インストール）および運用に必要なライセンス ファイルにアクセスし、ダウンロードする。<http://www.cisco.com/go/license>

クラスタごとに、次の順序でシスコユニファイド コミュニケーション システム ソリューションのコンポーネントをアップグレードします。

1. インフラストラクチャ コンポーネント。たとえば、Catalyst 6500/6000 スイッチ、ルータ、セキュリティ コンポーネントなど。これらのコンポーネントを最初にアップグレードして、シスコユニファイド コミュニケーション システムのコンポーネントが必要とするサービスをインフラストラクチャがサポートできるようにする必要があります。
2. Cisco Unified Communications Manager Express、PSTN ゲートウェイ、およびシスコ ゲートキーパー



(注)

これらのコンポーネントを最初にアップグレードして、シスコユニファイド コミュニケーション システムのコンポーネントが必要とするサービスをインフラストラクチャがサポートできるようにする必要があります。

3. ネットワーク管理コンポーネント
4. Unified Communications Manager などの呼処理コンポーネント
5. Cisco Unified Contact Center Express
6. Cisco Unity コンポーネントなどのアプリケーション サーバ（セキュリティ アプリケーションは含まれていません）
7. Cisco Unified MeetingPlace コンポーネント
8. Cisco Unified Video Advantage などのアプリケーション クライアント
9. MCS サーバ上で共存するシスコのアプリケーション

コンポーネントのアップグレード順序の詳細については、第 6 章「システムアップグレードの実行」を参照してください。

IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード シーケンスは、次の点を考慮して決定する必要があります。

- これらのコンポーネントが提供するサービスの重要性。たとえば、基本的な電話サービスは、補足サービスやボイス メッセージ サービスよりも重要であるとみなされます。
- これらのコンポーネントのソフトウェア リリースの下位互換性。詳細については、「[下位互換性の問題](#)」を参照してください。
- 「[アップグレード リリース バージョン](#)」を参照します。各コンポーネントを Unified Communications Manager のアップグレードの前後どちらでアップグレードする必要があるか、またはそのようなアップグレード順序が重要でないかについて、ベース リリース セットごとに説明します。

## システムアップグレードの依存関係

各リリースセット内のコンポーネントは、互いに互換性があり、正常に相互運用できます。たとえば、特定のベースリリースセット内のコンポーネントは相互に互換性があり、相互運用できます。また、ターゲットリリースセット内のコンポーネントは相互に互換性があり、相互運用できます。

マルチステージシステムアップグレードおよびマルチサイト移行アップグレードでは、各段階（メンテナンス期間）でリリースセット内の一部のコンポーネントだけをアップグレードします。そのため、これらのアップグレードでは特に、下位の互換性や非互換性の影響も考慮に入れて操作の順序を決める必要があります。下位互換性の詳細については、この項の後半で説明します。

統合システムの各コンポーネントをアップグレードする場合、一部のコンポーネントを次のリリースレベルにアップグレードしたあと、それらのコンポーネントを以前のリリースレベルのままのコンポーネントと相互運用できないと、システム全体がサービス低下状態で動作する可能性があります。

先にアップグレードするコンポーネントは、以前のリリースレベルのままである他のコンポーネントと相互運用できる必要があります。たとえば、Unified Communications Manager はゲートウェイの前にアップグレードします。そのため、Unified Communications Manager は、次のリリースレベルになっても、アップグレードされておらず以前のリリースレベルのままのゲートウェイと相互運用できる必要があります。

互換性の詳細については、「[アップグレードリリースバージョン](#)」の項を参照してください。

## Cisco Unified Communications Manager のアップグレードと互換性に関する考慮事項

Cisco Unified Communications Manager は、アップグレードシーケンスの初期にアップグレードされるため、シスコユニファイドコミュニケーションソフトウェアリリースバージョンを実行する他のコンポーネントとの互換性を備えている必要があります。

### 移行に関する一般的な注意事項

#### アップグレード前 / 再インストール移行

次の場合、Unified Communications Manager をアップグレードする前に、シスコユニファイドコミュニケーションシステムの再インストールまたは移行が可能です。

- 既存のアプリケーションバージョンと既存の Unified Communications Manager バージョン間に互換性がある。
- 既存のアプリケーションバージョンと Unified Communications Manager の新しいバージョン間に互換性がない。
- 新しいアプリケーションバージョンと Unified Communications Manager の新旧バージョンの両方の間に互換性がある。

#### アップグレード後 / 再インストール移行

次の場合、Unified Communications Manager をアップグレードしたあとで、シスコユニファイドコミュニケーションシステムの再インストールまたは移行を行う必要があります。

- 既存のアプリケーションバージョンと既存の Unified Communications Manager バージョン間に互換性がある。
- 既存のアプリケーションバージョンと Unified Communications Manager の新しいバージョン間に互換性がない。

- 新しいアプリケーションバージョンと Unified Communications Manager の新しいバージョン間に互換性はあるが、既存のバージョンとの間には互換性がない。

Unified Communications Manager の互換性および相互運用性については、次のサイトを参照してください。

Cisco Unified Communications Manager Compatibility Information

[http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products\\_device\\_support\\_tables\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_device_support_tables_list.html)

## Unified Communications Manager Release 4.x から Unified Communications Manager Release 7.0(1) へのアップグレード

IPC Systems Test Release 4.x から Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) にアップグレードする場合は、Cisco Unified Communications Manager に関する次の制約事項に注意してください。

- Cisco Unified Communications Manager のクラスタが 1 対 1 の冗長モデルで構成されている場合は、アップグレード中のダウンタイムを最小限に抑えることができます。これを行うには、プライマリ サブスクリバとバックアップ サブスクリバの間でデバイス登録の負荷を分散させます。この方法により、いずれかのサブスクリバサーバで障害が発生したり、メンテナンスのための停止が行われたりした場合、残りのサブスクリバにフェールオーバーしなければならないのは、半分のデバイスだけであり、すべてのデバイスが引き続き動作できることが保証されます。
- シスコシステムズによって認定されているソフトウェアに限り、システム インストーラでアップロードして処理できます。以前の Unified Communications Manager 4.x バージョンで使用していたサードパーティまたは Windows ベースのソフトウェア アプリケーションを、現在の Unified Communications Manager 7.0(1) リリース バージョンでインストールしたり使用したりすることはできません。
- アップグレードを実行する前に、Backup and Restore System (BARS) を使用して、Unified Communications Manager データを外部ネットワーク ディレクトリにバックアップすることを推奨します。この方法により、アップグレードが失敗した場合のデータ損失を防止できます。
- Cisco Unified Communications Manager Upgrade Utility を使用して、Cisco Unified Communications Manager クラスタに含まれるサーバの状態を検出してから、Cisco Unified Communications Manager へのアップグレードを実行します。このユーティリティによって、Cisco Unified Communications Manager のアップグレードが失敗する原因になりかねない問題を特定できます。クラスタ内のすべてのサーバが検証に合格してから、サーバをアップグレードすることを推奨します。
- Cisco CDR Analysis and Reporting (CAR) データを Unified Communications Manager 7.x に移行させる場合は、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ サーバに CAR プラグインがインストールされていることを確認してから、Data Migration Assistant (DMA) をインストールして実行します。CDR レコードを Unified Communications Manager 7.x に持ち込む必要がない場合は、CDR レコードを削除してから DMA を実行することを推奨します。
- Data Migration Assistant (DMA) を使用して、Unified Communications Manager 4.x バージョンから 7.x バージョンへ、Cisco Unified Communications Manager データを移行させます。アップグレードを実行する前に、Cisco Unified Communications Manager パブリッシャ サーバに DMA をインストールして実行する必要があります。
- DMA は次のファイルについてはエクスポートしません。
  - カスタム MoH (Music on Hold; 保留音) ファイル
  - カスタム電話のファームウェア (シスコのオプション パッケージ ファイル)
  - カスタム バックグラウンド ピクチャ
 アップグレードの前に、これらのファイルを外部ネットワーク ディレクトリに移します。さらに、アップグレードのあとで、これらのファイルを再びシステムにアップロードします。
- DMA は、Cisco Unified Communications Manager サブスクリバ サーバ上のファイルを移行させません。DMA の実行前に、サブスクリバからパブリッシャにこれらのファイルを移動させる必要があります。

- Cisco Unified Communications Manager と Unified Communications Manager の混在環境で、Cisco Emergency Responder クラスタ化を使用している場合、Cisco Emergency Responder 1.3(x) は Cisco Emergency Responder 2.0(3) または Cisco Emergency Responder 7.0 が動作している Cisco Emergency Responder クラスタに参加できます。Cisco Emergency Responder 1.3 は、Cisco Emergency Responder 1.2(x) または Cisco Emergency Responder 1.1(x) が動作している Cisco Emergency Responder クラスタには参加できません。Cisco Emergency Responder をアップグレードする前に、新しい Cisco Emergency Responder リリース バージョンをサポートする 4.1 以降のリリースに、Cisco Communications Manager クラスタをアップグレードすることも必要になる場合があります。
- Unified Contact Center Express (従来の Cisco Customer Response Solutions) 4.0(2)SR1 は Unified Communications Manager 7.0(1) をサポートしません。また、Unified Contact Center Express 7.0(1) は Unified Communications Manager 4.x をサポートしません。長期間にわたるサービス停止を避けるには、Unified Communications Manager とそのコンポーネントをアップグレードした後、同じメンテナンス期間中に Cisco Unified Contact Center Express システムのフレッシュ インストールを実行する必要があります。
- Cisco Unity Express をアップグレードする場合は、ターゲット リリース セットに含まれているバージョン 2.3.x への暫定アップグレードを実行してから、バージョン 3.1 にアップグレードします。
- Cisco IP Communicator 2.1(x) では、次の機能がサポートされます。
  - SIP 機能
  - Unified IP Phone 5.0(3) 電話機能
- Cisco Emergency Responder をアップグレードする場合は、最初にバージョン 1.3(x) にアップグレードする必要があります。その後、リリース セット バージョン 2.0(3) またはリリース セット バージョン 7.0 にアップグレードできます。
- Unified IP Phone の電話ライセンスが Unified Communications 4.x データベースに設定されていない場合は、Data Migration Assistant を実行する前にライセンスを設定し、ツールがこれらのライセンスを検出して取得できるようにします。
- Unified Communications Manager サーバをアップグレードする場合は、Unified IP Phone のソフトウェアが、Unified Communications Manager に付属のバージョンに自動的にアップグレードされることに注意してください。

## Cisco Unified Communications Manager Release 5.x から Cisco Unified Communications Manager Release 7.0(1) へのアップグレード

Cisco Unified Communications System Release 5.x から Release 7.0(1) にアップグレードする場合は、Cisco Unified Communications Manager に関する次の制約事項を考慮してください。

- Unified Communications Manager では、ソフトウェアのインストールおよびアップグレードはすべて、Software Upgrade メニュー オプションを使用して実行する必要があります。シスコシステムズによって認定されているソフトウェアに限り、システム インストーラでアップロードして処理できます。
- アップグレードを実行する前に、Disaster Recovery Framework を使用して、Unified Communications Manager および CDR Analysis and Reporting (CAR) のデータベースを外部ネットワーク ディレクトリにバックアップすることを推奨します。この方法により、アップグレードが失敗した場合のデータ損失を防止できます。
- Unified Communications Manager のクラスタが 1 対 1 の冗長モデルで構成されている場合は、アップグレード中のダウンタイムを最小限に抑えることができます。これを実現するには、最初のノード (プライマリ) と後続バックアップ ノード (サブスクリバ) の間でデバイス登録の負荷を分散させます。この方法により、いずれかの後続ノード サーバで障害が発生したり、メンテナンスのための停止が行われたりした場合、残りのサブスクリバにフェールオーバーしなければならないのは、半分のデバイスだけであり、すべてのデバイスが引き続き動作できることが保証されます。

- Cisco Unified Contact Center Express 7.0(1) と Windows 2003 オペレーティング システムの両方を新しくインストールする必要がありますが、データ移行用の移行パスがあります。Cisco Unified Contact Center Express システムは、Unified Communications およびそのコンポーネントをアップグレードしたあとでインストールする必要があります。
- 1 対 1 の冗長モデルで構成された Unified Communications Manager クラスタをアップグレードする場合は、最初のノードを必ず最初にアップグレードする必要があります。アップグレードした最初のノードをリブートする前に、すべての後続ノードを同時にアップグレードします。これらの後続ノードもリブートしません。クラスタのすべてのノードをアップグレードしたあとで、次の作業を順番どおりに行います。
  - 最初のノードでリブートして、バージョンを Unified Communications Manager 7.0(1) に切り替え、最初のノードが初期化されて完全に機能するようになるまで待ちます。
  - アップグレードライセンス、および必要な他のライセンスをインストールします。
  - TFTP サーバおよび MoH サーバから先にリブートし、Unified Communications Manager 7.0(1) に切り替えます。
  - TFTP サーバが完全に設定ファイルを構築するまで待ちます。
  - 後続のバックアップおよび呼処理ノードでリブートし、バージョンを Unified Communications Manager 7.0(1) に切り替えて、これらのサーバが完全に初期化されるまで待ちます。
  - クラスタ内の残りのアクティブな後続呼処理ノードでリブートし、バージョンを Unified Communications Manager 7.0(1) に切り替えて、アップグレードを完了します。
- Cisco Unified Communications Manager 5.1(3) リリースを Cisco Unified Communications Manager 7.0(1) にアップグレードしたあとで、Cisco Unified Communications Manager 7.0 のソフトウェア機能ライセンス ファイルをアップロードし、Cisco Unified Communications Manager サービスを再起動します。これらの作業を実行するまで、Cisco Unified Communications Manager サービスはアクティブになりません。ライセンスの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager System Guide』のライセンスの章を参照してください。
- Cisco Emergency Responder 1.3(2) を Cisco Emergency Responder 7.0(1) にアップグレードしたあとで、Cisco Emergency Responder 7.0(1) のソフトウェア機能ライセンス ファイルをアップロードし、Cisco Emergency Responder サービスを再起動します。これらの作業を実行するまで、Cisco Emergency Responder サービスはアクティブになりません。
- Cisco IP Communicator 2.0(x) では、次の機能がサポートされます。SIP 機能および Unified IP Phones 5.0(3) 電話機能
- Cisco Unified MobilityManager は移行パスがないので、Unified MobilityManager のすべてのユーザを Unified Communications Manager の組み込み機能に手動で移行させる必要があります。
- Cisco Unified MeetingPlace Video Integration は、次のものをサポートしています。
  - Cisco Unified Videoconferencing MCU 3540 4.x リリース。これは現在、単一の会議で複数の EMP を使用できるようにするカスケーディング MCU（仮想）機能を提供しません。
  - Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545 5.x リリース。これは、仮想 MCU 機能を提供します。

仮想 MCU 機能が不要な場合は、ハードウェアおよびソフトウェアを Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545 5.x リリースにアップグレードする必要はありません。
- Unified Communications Manager サーバをアップグレードする場合は、Unified IP Phone のソフトウェアが、Unified Communications Manager に付属のバージョンに自動的にアップグレードされることに注意してください。



## Cisco Unified Communications Manager Release 6.x から Cisco Unified Communications Manager Release 7.0(1) へのアップグレード

Cisco Unified Communications System Release 6.0(1) から Release 7.0(1) にアップグレードする場合は、Cisco Unified Communications Manager に関する次の制約事項に注意してください。

- Unified Communications Manager では、Unified OS Administrator GUI または CLI インターフェイスのどちらかから Software Upgrade メニュー オプションを使用して、すべてのソフトウェアインストールとアップグレードを行う必要があります。シスコシステムズによって認定されているソフトウェアに限り、システム インストーラでアップロードして処理できます。
- アップグレードを実行する前に、Disaster Recovery Framework を使用して、Unified Communications Manager および CDR Analysis and Reporting (CAR) のデータベースを外部ネットワーク ディレクトリにバックアップすることを推奨します。この方法により、アップグレードが失敗した場合のデータ損失を防止できます。
- Unified Communications Manager のクラスタが 1 対 1 の冗長モデルで構成されている場合は、アップグレード中のダウンタイムを最小限に抑えることができます。これを行うには、最初のノード (プライマリ) と後続のバックアップ ノード (サブスクライバ) の間でデバイス登録の負荷を分散させます。この方法により、いずれかの後続ノード サーバで障害が発生したり、メンテナンスのための停止が行われたりした場合、残りの後続ノードにフェールオーバーするのは、半分のデバイスだけであり、すべてのデバイスが引き続き動作できます。
- Cisco Unified Communications Manager 6.x リリースを Cisco Unified Communications Manager 7.0(1) にアップグレードしたあとで、Cisco Unified Communications Manager 7.0 のソフトウェア機能ライセンス ファイルをアップロードし、Cisco Unified Communications Manager サービスを再起動します。これらの作業を実行するまで、Cisco Unified Communications Manager サービスはアクティブになりません。ライセンスの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』のライセンスの章を参照してください。
- Cisco Emergency Responder 2.0(x) を Cisco Emergency Responder 7.0(1) にアップグレードしたあとで、Cisco Emergency Responder 7.0(1) のソフトウェア機能ライセンス ファイルをアップロードし、Cisco Emergency Responder サービスを再起動します。これらの作業を実行するまで、Cisco Emergency Responder サービスはアクティブになりません。
- Unified Communications Manager のクラスタをアップグレードする場合は、最初のノードを必ず最初にアップグレードする必要があります。最初のノードをアップグレード後にリブートする前に、すべての後続ノードを同時にアップグレードします。これらの後続ノードもリブートしません。

クラスタ内のすべてのノードをアップグレードしたあと、次の作業を順序どおりに実行します。

1. 最初のノードでリブートして、バージョンを Unified Communications Manager 7.0(1) に切り替え、そのノードが初期化されて完全に機能するようになるまで待ちます。
2. アップグレードライセンス、および必要な他のライセンスをすべてインストールします。
3. リブートし、バージョンを Unified Communications Manager 7.0(1) に切り替えます。この手順は、まず TFTP および Music-On-Hold (MOH; 保留音) サーバで実行します。
4. TFTP サーバが完全に設定ファイルを構築するまで待ちます。
5. 後続のバックアップおよび呼処理サーバでリブートし、バージョンを Unified Communications Manager 7.0(1) に切り替えて、これらのサーバが完全に初期化されるまで待ちます。
6. クラスタ内の残りのアクティブな呼処理サーバでリブートし、バージョンを Unified Communications Manager 6.1(1a) に切り替えて、アップグレードを完了します。



(注) 推奨アップグレード手順の詳細については、次の URL から『Cisco Unified Communications SRND based on Cisco Unified Communications Manager 7.x』の「Call Processing」の章を参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/netsol/ns656/networking\\_solutions\\_program\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/netsol/ns656/networking_solutions_program_home.html)

- Unified Communications Manager サーバをアップグレードする場合は、Unified IP Phone のソフトウェアも、Unified Communications Manager に付属のバージョンに自動的にアップグレードされることに注意してください。

## Cisco Unified Presence に関する考慮事項

Unified Presence をアップグレードする場合の考慮事項は、次のとおりです。

- Unified Presence のアップグレードは Unified Communications Manager をアップグレードする前に行います。Unified Communications Manager Release 7.0(1) は Unified Presence Release 1.x との間に下位互換性がないからです。
- Unified Communications Manager のアップグレード後、Unified Presence の Serviceability Page を使用して、Intercluster Sync Agent をいったん停止してから再起動します。この手順によって、Unified Communications Manager 5.x と 6.x 間でデータベーススキーマが異なるために必要な、再初期化と再同期が完了します。
- Unified Communications Manager 上で SIP Trunk Destination Port を 5060 に変更します。これは、Unified Presence Release 7.0(1) の SIP トランク リスニングポートが 5060 に変更されたからです。
- Unified Presence クラスターの両方のノードをアップグレードします。順序は最初のノードが先で、そのあとで後続ノードです。

Unified Presence Release 7.0(1) では、プロキシ プロファイルの設定が不要です。Unified Presence Release 6.0(1) から 7.0(1) にアップグレードする場合は、設定されているプロキシプロファイルを削除します。Release 7.0(1) ではこれらのプロキシプロファイルにアクセスできません。また、使用されることもありません。

## Cisco Unified IP Phone に関する考慮事項

Unified IP Phone をアップグレードする場合の考慮事項は、次のとおりです。

- Unified IP Phone の電話ライセンスが Unified Communications 4.x データベースに設定されていない場合は、Data Migration Assistant を実行する前にライセンスを設定し、ツールがこれらのライセンスを検出して取得できるようにします。
- Unified Communications Manager サーバをアップグレードする場合は、Unified IP Phone のファームウェアも、Unified Communications Manager にバンドルされているバージョンに自動的にアップグレードされることに注意してください。

SIP Unified IP Phone の詳細、および SCCP 電話機と SIP 電話機の機能の違いについては、次のマニュアルを参照してください。

- 『Cisco 7900 Series IP Phones Maintain and Operate Guides』  
[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod\\_maintenance\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod_maintenance_guides_list.html)
- 『Cisco 7900 Series IP Phones End-User Guides』  
[http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products\\_user\\_guide\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html)
- 『Cisco Unified Communications SRND based on Cisco Unified Communications Manager 6.x』の「IP Telephony Endpoints」の章  
[www.cisco.com/go/srnd](http://www.cisco.com/go/srnd)



## 下位互換性の問題

マルチステージ システム アップグレードのシナリオでは、コンポーネント間の下位互換性など、追加の考慮事項があります。

1つのコンポーネントの特定のバージョンに、別のコンポーネントの以前のバージョンとの下位互換性があると、それら2つのコンポーネントバージョン間でサービスの機能および動作が保持されます。2つのコンポーネントまたはアプリケーション間の下位互換性が原因で、コンポーネントのアップグレード順序が制限されたり、アップグレード中にサービス停止が発生したりすることがあります。

マルチステージ システム アップグレードまたはマルチサイト移行アップグレードのシナリオのように、2つのコンポーネントが別個のメンテナンス期間中にアップグレードされる場合、2つのメンテナンス期間に挟まれた期間中は、システム全体が部分的にアップグレードされた状態で存在します。

この項で説明するように、メンテナンス期間に挟まれた期間中は、2つのコンポーネント間に下位互換性があるかどうかによって、サービス機能が保持されるかどうかが決まります。2つのコンポーネント間に下位互換性がない場合、2つのメンテナンス期間に挟まれた期間中は、サービス停止が発生します。

アップグレード プロセス中に、下位互換性に関連するいくつかの状況（「[下位互換性のシナリオ](#)」を参照）が発生する可能性があります。詳細については、「[互換性ガイド](#)」に示されているコンポーネント互換性マトリクスを参照してください。

## 下位互換性のシナリオ

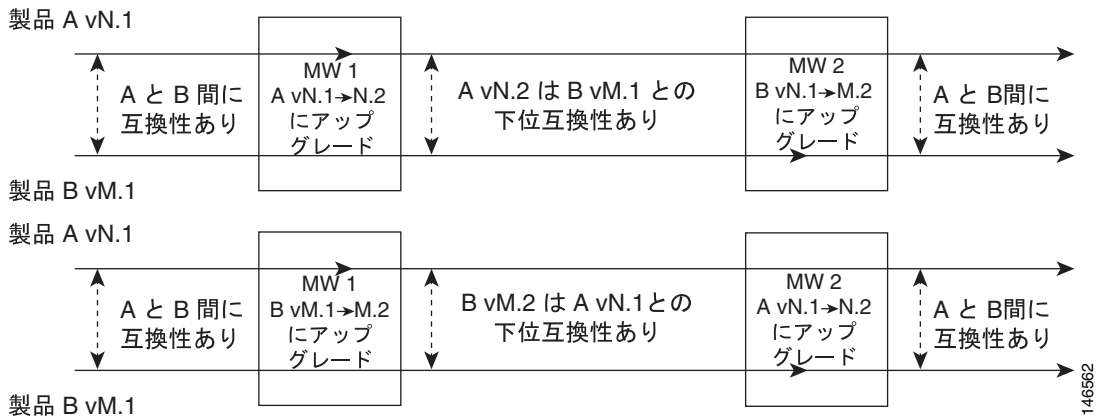
この項では、下位互換性のさまざまなシナリオを示します。

### 両方の新しいバージョンに下位互換性がある場合

2つのコンポーネントのバージョンが、互いに他のコンポーネントの以前のバージョンとの下位互換性を持っている場合があります。たとえば、Unified MeetingPlace と Unified Communications Manager などです。この場合、アップグレードの順序は、下位互換性による制限を受けません。どちらのコンポーネントを先にアップグレードしてもよく、どちらのコンポーネントも他方のコンポーネントと相互運用できます。[図 5-1](#) を参照してください。

これらのコンポーネントのアップグレードは、複数のメンテナンス期間にわたって実行できます。このタイプのアップグレードについては、[第4章「システム アップグレードの計画」](#)のマルチステージ システム アップグレード方法およびマルチサイト移行アップグレード方法で説明しています。

図 5-1 両方の新しいリリースバージョンに下位互換性がある場合



146562

片方の新しいバージョンだけに下位互換性がある場合

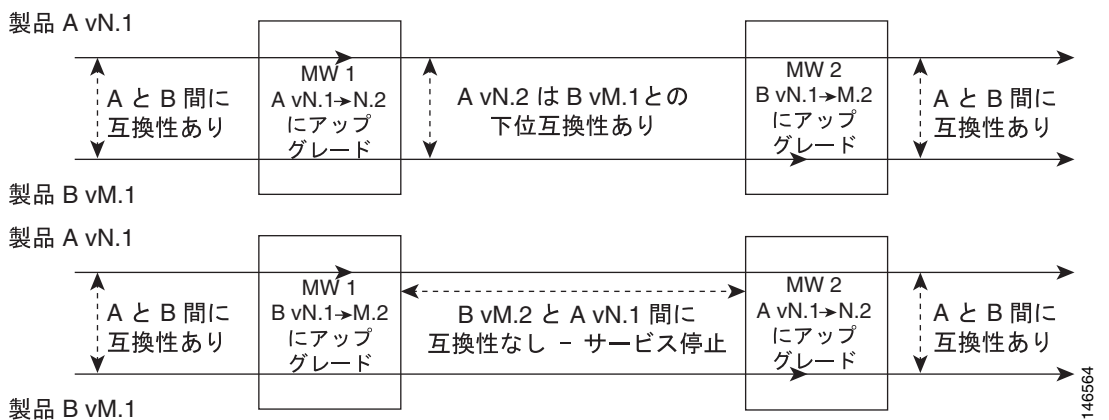
片方の新しいバージョンだけが、他方のコンポーネントの以前のバージョンとの下位互換性を持っている場合があります。このモデルに適合するコンポーネントはありません。

この場合は、アップグレード中のサービス停止を避けるため、下位互換性を持つコンポーネントを先にアップグレードする必要があります。図 5-2 を参照してください。

たとえば、Unified MobilityManager 1.1(1) は Unified Communications Manager 6.0(1) をサポートしないため、Unified MobilityManager 1.1(1) から 1.2(3) へのアップグレードは、Unified Communications Manager 4.1(3)SR2 から Unified Communications Manager 6.0(1) へのアップグレード後に実行する必要があります。

これらのコンポーネントのアップグレードは、2 つの別個のメンテナンス期間にわたって実行できます。このタイプのアップグレードについては、第 4 章「システムアップグレードの計画」のマルチステージシステムアップグレード方法およびマルチサイト移行アップグレード方法で説明しています。

図 5-2 片方の新しいリリースバージョンに下位互換性がある場合



146564

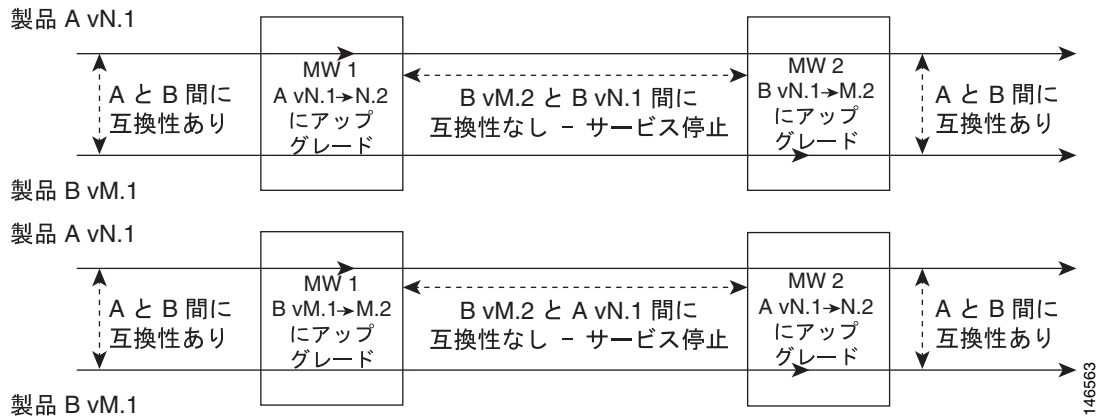
どちらの新しいバージョンにも下位互換性がない場合

どちらの新しいバージョンにも、他方のコンポーネントの以前のバージョンとの下位互換性がない場合があります。たとえば、Unified Contact Center Express と Unified Communications Manager などです。

この場合は、最初の製品がアップグレードされてから 2 番目のコンポーネントがアップグレードされるまでの間、サービス停止状態になります。図 5-3 を参照してください。

たとえば、Unified Contact Center Express (従来の Cisco Customer Response Solutions) 4.0(2) は Unified Communications Manager 6.0(1) をサポートしません。また、Unified Contact Center Express (従来の Cisco Customer Response Solutions) 5.0(1) は Cisco Unified Communications Manager 4.x をサポートしません。どちらのコンポーネントも互いに下位互換性を持たないため、サービス停止を防ぐには、両方のコンポーネントを同じメンテナンス期間中にアップグレードする必要があります。このアップグレードについては、第 4 章「システムアップグレードの計画」の単一ステージアップグレード方法で説明しています。

図 5-3 どちらの新しいリリースバージョンにも下位互換性がない場合



## ■ アップグレードリリースバージョン

## アップグレードリリースバージョン

この項の各表では、ベースリリースセットおよびターゲットリリースセット内のコンポーネントのリリースバージョンを示し、Unified Communications Manager 7.0(1) に関連する追加の互換性情報およびアップグレードシーケンス情報を提供します。

各表には、次の情報が含まれています。

- カラム1 — アップグレードプロセスに関連する IP テレフォニー コンポーネント
- カラム2 — ベースリリースセット内のコンポーネントのリリースバージョン
- カラム3 — ターゲットリリースセット内のコンポーネントのリリースバージョン
- カラム4 — ベースリリースセット内の IP テレフォニー コンポーネントが、ターゲットリリース内の Unified Communications Manager のバージョンとの互換性を持っているかどうか。
- カラム5 — Unified Communications Manager に対する IP テレフォニー コンポーネントのアップグレード順序。「任意」は、Unified Communications Manager のアップグレードの前後どちらでも、そのコンポーネントをアップグレードできることを意味します。

### Release 4.2 と Release 7.0(1) のソフトウェアリリースセット

表 5-1 に、IPC Systems Test Release 4.2 および Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) の各リリースセット内に存在する IP テレフォニー コンポーネントのソフトウェアバージョンを示します。

表 5-1 Cisco Unified Communications System Release 4.2 および Release 7.0(1) リリースセット内の IPT コンポーネント

シスコユニファイドコミュニケーションシステムコンポーネント名	Release 4.2 リリースセット	Release 7.0(1) リリースセット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Communications Manager	4.1(3)SR2	7.0(1)	あり	—
Cisco Unified Communications Manager — Cisco IP Telephony Operating System	2000.2.7SR8	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Contact Center Express	4.0(2)	7.0(1) SR1	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後、Unified Communications Manager と同じメンテナンス期間中に Cisco Unified Contact Center Express のフレッシュインストールを実行
Cisco Unified Contact Center Express — Cisco IP Telephony Operating System	2000.2.7SR8	2003.1.2a SR9	—	—
Cisco Emergency Responder	1.2(3)SR2	7.0(1)	あり	Unified Communications Manager のあと

表 5-1 Cisco Unified Communications System Release 4.2 および Release 7.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.2 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Presence	未使用	7.0	—	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unity、Unity CM-TSP	4.1.1 / 8.0(2)	7.0(2), 8.3(1)	あり	Unified Communications Manager と同時に Unity TSP をアップグレード Unified Communications Manager のあとで Unity をアップグレード
Cisco Unity、Microsoft Exchange	Microsoft Exchange 2003 SP3	Microsoft Exchange 2003 SP2 (Cisco Unity およびパートナー Exchange サーバ上) および Microsoft Exchange 2000SP1 または Exchange 2003SP2 (他のメッセージストア サーバ上)	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity、IBM/Lotus Domino <sup>1</sup>	6.0.5 (DUCS 1.2.3 を併用)	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	あり	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity Bridge	3.0(6)	未使用 <sup>2</sup>	—	—
Cisco Unity Bridge のオペレーティング システム	Win2003	未使用	—	—
Cisco Unity Express	2.1.2	3.2	あり	After Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express のあと
Cisco Unity Connection	1.1(1)	7.0 <sup>3</sup>	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified Messaging Gateway	未使用	1.0.2	あり	任意
Cisco Unified MeetingPlace Express	未使用	2.0(3)	あり	任意
Cisco Unified MeetingPlace	5.3	7.0	あり	任意

## ■ アップグレードリリースバージョン

表 5-1 Cisco Unified Communications System Release 4.2 および Release 7.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.2 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Video Conferencing	4.0	6.0	あり	Unified Communications Manager のアップグレード後にフレッシュインストール
Cisco Unified Communications Manager Express	3.3 / 12.4(3b)	7.0/12.4(20)T <sup>4</sup>	あり	任意
Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (Unified SRST)	3.3 / 12.4(3b)	7.0/12.4(20)T <sup>4</sup>	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Multipoint Control Unit (MCU) 3511 および統合された Enhanced Media Processor (EMP) <sup>1</sup>	MCU 4.1.9 / EMP 3.1.2	未使用	—	—
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3521 (ISDN BRI)	4.0.0.40	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3526 (ISDN PRI)	4.0.0.40	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3540	4.0.31	4.2.10	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545	未使用	5.1.0.0.54	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco 2610XM、2611XM、2620XM、2621XM、2650XM、2651XM、2691 (ルータ)	12.4(3b)	未使用	—	—
Cisco 2801、2811、2821、2851、3825、3845 (ルータ、音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(3b)	12.4(20)T	あり	任意
Cisco IOS Mainline Release	—	12.4(18c) <sup>5</sup>		
Cisco IOS Firewall	12.4(3b)	12.4(20)T1	あり	任意
Cisco 3660 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(3b)	—	—	—
Cisco 3725 (ゲートキーパー)	12.4(7b)	—	—	—
Cisco 3745 (ゲートキーパー)	12.4(3b)	12.4(15)T <sup>7</sup>	あり	任意
Cisco 3725、3745 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(3b)	12.4(15)T <sup>7</sup>	あり	任意
Cisco 3725、3745 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(3b) / Advanced Enterprise Services パッケージ	12.4(15)T <sup>7</sup>	あり	任意



表 5-1 Cisco Unified Communications System Release 4.2 および Release 7.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.2 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco 3825 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	2.4(3b) / Advanced Enterprise Services パッケージ	12.4(20)T		
Cisco 7206VXR (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(3b)	12.4(20)T	あり	任意
Cisco Catalyst 3500XL (アクセス スイッチ)	12.0(5)WC12	12.0(5)WC17	あり	任意
Cisco Catalyst 3550 (アクセス スイッチ)	12.1(25)SEC2	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3560 (アクセス スイッチ)	未使用	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3750 (データセンター スイッチ)	12.2(25)SEE1	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 4506 (アクセス スイッチ)	12.2(25)EWA5	12.2(25)EWA8	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (音声アクセス スイッチ、Supervisor 2 / MSFC2)	CatOS 8.5(4) / 12.2(18)SXE4	Cat OS 8.6.3 / 12.2.(18)SXF9	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (コア スイッチ、Supervisor 720)	12.2(18)SXE4	12.2(18)SXF9 (ネイティブモード)	あり	任意
Cisco Catalyst Communication Media Module	12.4(3b)	12.4(15)T7 <sup>6</sup>	あり	任意
Cisco Catalyst 6500 シリーズ Firewall Service Module	未使用	4.0(3) <sup>7</sup>	—	任意
Cisco Catalyst 6608、6624 (音声ゲートウェイ)	Cisco Unified Communications Manager に付属	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	任意
Cisco Catalyst Express 500	12.2.25FY	未使用	—	—
Cisco VG224 アナログ電話ゲートウェイ	12.4(3b)	12.4(20)T	あり	任意
Cisco VG248 アナログ電話ゲートウェイ	1.3(1)	1.3(2)	あり	任意
Cisco ATA 186、188 (アナログ電話アダプタ)	3.2(1)	未使用	—	—
Cisco Security Agent — Unified Communications Manager	4.5.1.639 / 2.0(3)	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Security Agent — Cisco Emergency Responder	4.5.1.639/2.0(3)	Cisco Emergency Responder にバンドル	—	—
Cisco Security Agent — Cisco Unified Contact Center Express	4.5.1.639 / 2.0(3)	5.0.0.216-3.0.4	—	—

## ■ アップグレードリリースバージョン

表 5-1 Cisco Unified Communications System Release 4.2 および Release 7.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.2 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Security Agent — Cisco Unity	4.0.1.539 / 1.1.3 以降	4.5.1.639-2.0.3	—	—
Cisco Adaptive Security Appliance (ASA)	未使用	8.0(4)	—	—
Cisco Unified Mobility	1.1(1)	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Operations Manager	未使用	2.1 <sup>8</sup>	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Service Monitor	未使用	2.1	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Provisioning Manager	未使用	1.3	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Service Statistic Manager	未使用	1.1	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco netManager Unified Communications	未使用	1.1	—	
Cisco Resource Management Essentials (RME)	未使用	4.0.5	—	任意
Cisco Unified IP Phone	Cisco Unified Communications Manager に付属	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Application Environment	未使用	2.5(1)	あり	新規インストール
Cisco Aironet 1200G アクセス ポイント (AP)	12.3(4)JA	12.3(8)JA	あり	任意
Cisco IP Communicator	1.1(4)	2.2	あり	任意
Cisco Unified Personal Communicator	未使用	7.0	—	任意
Cisco Unified Video Advantage	1.0(2)	2.1.1	あり	任意

表 5-1 Cisco Unified Communications System Release 4.2 および Release 7.0(1) リリース セット内の IPT コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.2 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
McAfee Antivirus	Enterprise 7.1.0 Engine 4.4.00	Enterprise 8.0.0 パッチバージョン : 11	—	—

1. EUEM サイト モデルだけでテスト済みです。
2. 「未使用」とは、可用性が欠如している、サポート終了日が過ぎている、そのリリース セットのテスト要件ではないなどのさまざまな理由で、その特定のテスト環境でテストされなかったコンポーネントを示します。
3. 2008 年第 4 四半期に利用可能になる Engineering Special または Service Release で、CSCsr83757 の障害に対処できます。
4. Cisco IOS Firewall のバージョンは 12.4(20)T1 です。
5. IOS Mainline Release 12.4(18b) は、IP テレフォニー環境で実行するロールバック テストに含まれる、追加の基本 PSTN 機能および負荷テストに使用されていました。
6. Cisco IOS Release 12.4(15)Tx は、Cisco 37xx シリーズおよび Communications Media Module プラットフォームでサポートされる最終リリースです。これらのコンポーネントは Release 12.4(20)T ではサポートされません。
7. 2008 年第 4 四半期に利用可能になる予定です。
8. CSCsh72308 の障害を修正するパッチが使用可能です。パッチの入手方法については、この障害の回避策を参照してください。

## Release 4.4 と Release 7.0(1) のソフトウェア リリース セット

表 5-2 に、IPC Systems Test Release 4.4 および Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) の各リリース セット内に存在する IP テレフォニー コンポーネントのソフトウェア バージョンを示します。

表 5-2 Cisco Unified Communications System Release 4.4 および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.4 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Communications Manager	4.2(3)	7.0(1)	あり	—
Cisco Unified Communications Manager — Cisco IP Telephony Operating System	2000.4.3 SR2	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Contact Center Express	4.0(4) SR1	7.0(1) SR1	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後、Unified Communications Manager と同じメンテナンス期間中に Cisco Unified Contact Center Express のフレッシュ インストールを実行
Cisco Unified Contact Center Express — Cisco IP Telephony Operating System	2000.2.7SR8	OS 2003.1.2a SR9	—	—

## ■ アップグレードリリースバージョン

表 5-2 Cisco Unified Communications System Release 4.4 および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.4 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Emergency Responder	1.3(1a)	7.0(1)	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified Presence	未使用	7.0(1)	—	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unity、Unity CM-TSP	4.2(1)/8.1(3)	7.0(2), 8.3(1)	あり	Unified Communications Manager と同時に Unity TSP をアップグレード  Unified Communications Manager のあとで Unity をアップグレード
Cisco Unity、Microsoft Exchange	Microsoft Exchange 2003 SP3	Microsoft Exchange 2003 SP2 (Cisco Unity およびパートナー Exchange サーバ上) および Microsoft Exchange 2000SP1 または Exchange 2003SP2 (他のメッセージストア サーバ上)	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity、IBM/Lotus Domino <sup>1</sup>	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	あり	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity Bridge	3.1(1)	未使用 <sup>2</sup>	—	—
Cisco Unity Bridge のオペレーティング システム	Win2003	未使用	—	—
Cisco Unity Express	2.3(1)	3.2	あり	After Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express のあと
Cisco Unity Connection	1.2(1)	7.0 <sup>3</sup>	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified Messaging Gateway	未使用	1.0.2	あり	任意

表 5-2 Cisco Unified Communications System Release 4.4 および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.4 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified MeetingPlace Express	1.1(2)	2.0(3)	あり	任意
Cisco Unified MeetingPlace	5.3	7.0(x)	あり	任意
Cisco Unified Video Conferencing	4.2.10	6.0	あり	Unified Communications Manager のアップグレード後にフレッシュインストール
Cisco Unified Communications Manager Express	3.3/IOS 12.4(3b)	7.0/12.4(20)T <sup>4</sup>	あり	任意
Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (Unified SRST)	3.3/IOS12.4(3b)	7.0/12.4(20)T <sup>4</sup>	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Multipoint Control Unit (MCU) 3511 および統合された Enhanced Media Processor (EMP) <sup>1</sup>	MCU 4.2.10 / EMP 4.2.8.1	未使用	—	—
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3521 (ISDN BRI) <sup>1</sup>	4.0.0.40	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3526 (ISDN PRI) <sup>1</sup>	4.0.0.40	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3540	4.2.10	4.2.10	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545	未使用	5.1.0.0.54	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco 2610XM、2611XM、2620XM、2621XM、2650XM、2651XM、2691 (ルータ)	12.4(3b)	未使用	—	—
Cisco 2801、2811、2821、2851、3825、3845 (ルータ、音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(3b)	12.4(20)T <sup>4</sup>	あり	任意
Cisco IOS Mainline Release	—	12.4(18c) <sup>5</sup>		
Cisco 3660 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(3b)	未使用	—	—
Cisco 3725 (ゲートキーパー)	12.4(7b)	未使用	—	—
Cisco 3745 (ゲートキーパー)	12.4(3b)	12.4(15)T <sup>7</sup>	あり	任意
Cisco 3725、3745 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(3b)	12.4(15)T <sup>7</sup>	あり	任意

## ■ アップグレードリリースバージョン

表 5-2 Cisco Unified Communications System Release 4.4 および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.4 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco 3725、3745 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(3b) / Advanced Enterprise Services パッケージ	12.4(15)T7 <sup>6</sup>	あり	任意
Cisco 3825 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(3b) / Advanced Enterprise Services パッケージ	12.4(20)T		
Cisco 7206VXR (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(3b)	12.4(20)T	あり	任意
Cisco Catalyst 3500XL (アクセス スイッチ)	12.0(5)WC12	12.0(5)WC17	あり	任意
Cisco Catalyst 3550 (アクセス スイッチ)	12.1(25)SEC2	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3560 (アクセス スイッチ)	未使用	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3750 (データセンター スイッチ)	12.2(25)SEE1	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 4506 (アクセス スイッチ)	12.2(25)EWA5	12.2(25)EWA8	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (音声アクセス スイッチ、Supervisor 2 / MSFC2)	CatOS 8.5(4) / 12.2(18)SXE4	Cat OS 8.6.3 / 12.2.(18)SXF9	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (コア スイッチ、Supervisor 720)	12.2(18)SXE4	12.2(18)SXF9 (ネイティブモード)	あり	任意
Cisco Catalyst Communication Media Module	12.4(3b)	12.4(15)T7 <sup>6</sup>	あり	任意
Cisco Catalyst 6500 シリーズ Firewall Service Module	未使用	4.0(3) <sup>7</sup>	—	任意
Cisco Catalyst 6608、6624 (音声ゲートウェイ)	Cisco Unified Communications Manager に付属	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	任意
Cisco Catalyst Express 500	12.2.25FY	未使用	—	—
Cisco VG224 (アナログ音声ゲートウェイ)	12.4(7b)	12.4(20)T	あり	任意
Cisco VG248 (アナログ音声ゲートウェイ)	1.3(1) ES8.2	1.3(2)	あり	任意
Cisco ATA 186、188 (アナログ電話アダプタ)	3.2(3)	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Security Agent — Unified Communications Manager	4.5.1.655/2.0(5) 以降	Unified Communications Manager にバンドル	—	—



表 5-2 Cisco Unified Communications System Release 4.4 および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.4 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Security Agent — Cisco Emergency Responder	4.5.1.655/2.0(5)	Cisco Emergency Responder にバンドル	—	—
Cisco Security Agent — Cisco Unified Contact Center Express	4.5.1.655/2.0(5)	5.2	—	—
Cisco Security Agent — Cisco Unity	4.5.1.639 / 2.0(3)	5.2	—	—
Cisco Adaptive Security Appliance (ASA)	未使用	8.0(4)	—	—
Cisco Unified Mobility	1.2(2)	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Operations Manager	未使用	2.1	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Service Monitor	未使用	2.1	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Provisioning Manager	未使用	1.3 <sup>8</sup>	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Service Statistic Manager	未使用	1.1	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco netManager Unified Communications	未使用	1.1	—	
Cisco Resource Management Essentials (RME)	未使用	4.0.5	—	任意
Cisco Unified IP Phone	Cisco Unified Communications Manager に付属	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Application Environment	未使用	2.5(1)	あり	新規インストール
Cisco Aironet 1200G アクセス ポイント (AP)	12.3(8)JA2	12.3(8)JA	あり	任意

## ■ アップグレードリリースバージョン

表 5-2 Cisco Unified Communications System Release 4.4 および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 4.4 リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco IP Communicator	2.0(1a)	2.1.3	あり	任意
Cisco Unified Personal Communicator	未使用	7.0	—	任意
Cisco Unified Video Advantage	2.0(2)	2.1.1	あり	任意
McAfee Antivirus	Enterprise 7.1.0 Engine 4.4.00	Enterprise 8.0.0 パッチ バージョン : 11	—	—

1. EUEM サイト モデルだけでテスト済みです。
2. 「未使用」とは、可用性が欠如している、サポート終了日が過ぎている、そのリリース セットのテスト要件ではないなどのさまざまな理由で、その特定のテスト環境でテストされなかったコンポーネントを示します。
3. 2008 年第 4 四半期に利用可能になる Engineering Special または Service Release で、[CSCsr83757](#) の障害に対処できます。
4. Cisco IOS Firewall のバージョンは 12.4(20)T1 です。
5. IOS Mainline Release 12.4(18b) は、IP テレフォニー環境で実行するロールバック テストに含まれる、追加の基本 PSTN 機能および負荷テストに使用されていました。
6. Cisco IOS Release 12.4(15)Tx は、Cisco 37xx シリーズおよび Communications Media Module プラットフォームでサポートされる最終リリースです。これらのコンポーネントは Release 12.4(20)T ではサポートされません。
7. 2008 年第 4 四半期に利用可能になる予定です。
8. [CSCsh72308](#) の障害を修正するパッチが使用可能です。パッチの入手方法については、この障害の回避策を参照してください。

## Release 5.1(3) と Release 7.0(1) のソフトウェア リリース セット

表 5-3 に、Cisco Unified Communications System Release 5.1(3) および Cisco Unified Communications System Release 7.0(1) の各リリース セット内に存在する IP テレフォニー コンポーネントのソフトウェア バージョンを示します。

**表 5-3 Cisco Unified Communications System Release 5.1(3) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント**

シスコユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 5.1(3) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Communications Manager	5.1(3)	7.0(1)	あり	—
Cisco Unified Communications Manager — Cisco IP Telephony Operating System	2000.4.3 SR2	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Contact Center Express	4.5(2)	7.0(1) SR1	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後、Unified Communications Manager と同じメンテナンス期間中に Cisco Unified Contact Center Express のフレッシュ インストールを実行
Cisco Unified Contact Center Express — Cisco IP Telephony Operating System	2000.4.3aSR5	OS 2003.1.2a SR9	—	—
Cisco Emergency Responder	1.3(2)	7.0(1)	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified Presence	1.0(3)	7.0(1)	—	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unity、Unity CM-TSP	4.2(1)/8.1(2)	7.0(2), 8.3(1)	あり	Unified Communications Manager と同時に Unity TSP をアップグレード  Unified Communications Manager のあとで Unity をアップグレード

## ■ アップグレードリリースバージョン

表 5-3 Cisco Unified Communications System Release 5.1(3) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 5.1(3) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unity、 Microsoft Exchange	Microsoft Exchange 2003 SP3 (Cisco Unity およびパートナー Exchange サーバ上)、Microsoft Exchange 2003 (他のメッセージストア サーバ上)	Microsoft Exchange 2003 SP2 (Cisco Unity およびパートナー Exchange サーバ上) および Microsoft Exchange 2000SP1 または Exchange 2003SP2 (他のメッセージストア サーバ上)	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity、 IBM/Lotus Domino <sup>1</sup>	6.5 (DUC 1.2.3 を併用)	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	あり	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity Express	2.3(3)	3.2	あり	After Unified Communications Manager または Cisco Unified Communications Manager Express のあと
Cisco Unity Connection	1.2(1)SR2	7.0 <sup>2</sup>	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified Messaging Gateway	未使用	1.0.2	あり	任意
Cisco Unified MeetingPlace Express	1.2	2.0(3)	あり	任意
Cisco Unified MeetingPlace	5.4	7.0(x)	あり	任意
Cisco Unified Video Conferencing	5.0	6.0	あり	Unified Communications Manager のアップグレード後にフレッシュ インストール
Cisco Unified Communications Manager Express	4.0(2)/IOS 12.4(11)T3	7.0/12.4(20)T <sup>3</sup>	あり	任意
Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (Unified SRST)	4.0(2)/IOS 12.4(11)T3	7.0/12.4(20)T <sup>3</sup>	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Multipoint Control Unit (MCU) 3511 および統合された Enhanced Media Processor (EMP) <sup>1</sup>	5.0.64	未使用	—	—
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3521 (ISDN BRI) <sup>1</sup>	5.0.0.0.22	5.0.0.0.22	あり	任意

表 5-3 Cisco Unified Communications System Release 5.1(3) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 5.1(3) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3526 (ISDN PRI) <sup>1</sup>	5.0.0.0.22	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3540	5.1.0.0.24	5.1.0.0.24	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545	4.2.10	5.5.0.0.54	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco 2610XM、2611XM、2620XM、2621XM、2650XM、2651XM、2691 (ルータ)	12.4(11)T3	未使用	—	—
Cisco 2801、2811、2821、2851、3825、3845 (ルータ、音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(11)T3	12.4(20)T <sup>3</sup>	あり	任意
Cisco IOS Mainline Release	—	12.4(18c) <sup>4</sup>		
Cisco 3660 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(11)T3	未使用	—	—
Cisco 3725 (ゲートキーパー)	12.4(11)T3	未使用	—	—
Cisco 3745 (ゲートキーパー)	12.4(11)T3	12.4(15)T <sup>7</sup> <sup>5</sup>	あり	任意
Cisco 3725、3745 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(11)T3	12.4(15)T <sup>7</sup> <sup>5</sup>	あり	任意
Cisco 3725、3745 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(11)T3 / Advanced Enterprise Services パッケージ	12.4(15)T <sup>7</sup> <sup>5</sup>	あり	任意
Cisco 3825 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(11)T3 / Advanced Enterprise Services パッケージ	12.4(20)T <sup>3</sup>	あり	任意
Cisco 7206VXR (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(11)T3	12.4(20)T	あり	任意
Cisco Catalyst 3500XL (アクセス スイッチ)	12.0(5)WC17	12.0(5)WC17	あり	任意
Cisco Catalyst 3550 (アクセス スイッチ)	12.2(35)SE1	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3560 (アクセス スイッチ)	未使用	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3750 (データ センター スイッチ)	12.2(35)SE1	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 4506 (アクセス スイッチ)	12.2(31)SGA3	12.2(25)EWA8	あり	任意

## ■ アップグレードリリースバージョン

表 5-3 Cisco Unified Communications System Release 5.1(3) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 5.1(3) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Catalyst 6506、6509 (音声アクセス スイッチ、Supervisor 2 / MSFC2)	CatOS 8.5(8) / 12.2(18)SXF6	CatOS 8.6.3 / 12.2.(18) SXF9	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (コア スイッチ、Supervisor 720)	12.2(18)SXF9 (ネイティブモード)	12.2(18)SXF9 (ネイティブモード)	あり	任意
Cisco Catalyst Communication Media Module	12.4(11)T3	12.4(15)T7 <sup>5</sup>	あり	任意
Cisco Catalyst 6500 シリーズ Firewall Service Module	3.1.6	4.0(3) <sup>6</sup>	—	任意
Cisco Catalyst 6608、6624 (音声ゲートウェイ)	Cisco Unified Communications Manager に付属	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	任意
Cisco VG224 (アナログ音声ゲートウェイ)	12.4(11)T3	12.4(20)T	あり	任意
Cisco VG248 (アナログ音声ゲートウェイ)	1.3(2)	1.3(2)	あり	任意
Cisco ATA 186、188 (アナログ電話アダプタ)	Unified Communications Manager にバンドル	未使用	—	—
Cisco Security Agent — Unified Communications Manager	Unified Communications Manager にバンドル	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Security Agent — Cisco Emergency Responder	5.0.0.194-3.0.2	Cisco Emergency Responder にバンドル	—	—
Cisco Security Agent — Cisco Unified Contact Center Express	5.0.0.194-3.0.2	5.2	—	—
Cisco Security Agent — Cisco Unity	4.5.1.639-2.0.3	5.2	—	—
Cisco Adaptive Security Appliance (ASA)	未使用	8.0(4)	—	—
Cisco Unified Mobility	1.2(5)	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Operations Manager	2.0(1)	2.1 <sup>7</sup>	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール



表 5-3 Cisco Unified Communications System Release 5.1(3) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 5.1(3) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Service Monitor	2.0	2.1	なし	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Provisioning Manager	未使用	1.3	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco Unified Service Statistic Manager	未使用	1.1	—	Unified Communications Manager のアップグレード後に新規インストール
Cisco netManager Unified Communications	未使用	1.1	—	
Cisco Resource Management Essentials (RME)	4.0.3	4.0.5	—	任意
Cisco Unified IP Phone	Cisco Unified Communications Manager に付属	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Application Environment	未使用	2.5	あり	新規インストール
Cisco Aironet 1200G アクセス ポイント (AP)	12.3.11-JX1	12.3(8)JA	あり	任意
Cisco IP Communicator	2.0(1)	2.1(3)	あり	任意
Cisco Unified Personal Communicator	1.1(3)	7.0(1)	—	任意
Cisco Unified Video Advantage	2.0(3)	2.1(1)	あり	任意
McAfee Antivirus	Enterprise 8.0.0 パッチバージョン : 11	Enterprise 8.0.0 パッチバージョン : 11	—	—

1. EUEM サイト モデルだけでテスト済みです。
2. 2008 年第 4 四半期に利用可能になる Engineering Special または Service Release で、[CSCsr83757](#) の障害に対処できます。
3. Cisco IOS Firewall のバージョンは 12.4(20)T1 です。
4. IOS Mainline Release 12.4(18b) は、IP テレフォニー環境で実行するロールバック テストに含まれる、追加の基本 PSTN 機能および負荷テストに使用されていました。
5. Cisco IOS Release 12.4(15)Tx は、Cisco 37xx シリーズおよび Communication Media Module プラットフォームでサポートされる最終リリースです。これらのコンポーネントは Release 12.4(20)T ではサポートされません。
6. 2008 年第 4 四半期に利用可能になる予定です。
7. [CSCsh72308](#) の障害を修正するパッチが使用可能です。パッチの入手方法については、この障害の回避策を参照してください。

## ■ アップグレードリリースバージョン

## Release 5.1(1) と Release 7.0(1) のソフトウェア リリース セット

表 5-4 に、Cisco Unified Communications System Release 5.1(1) および Release 7.0(1) の各リリース セット内に存在する IP テレフォニー コンポーネントのソフトウェア バージョンを示します。

表 5-4 Cisco Unified Communications System Release 5.1(1) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 5.1(1) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Communications Manager	6.0(1) <sup>1</sup>	7.0(1)	あり <sup>2</sup>	—
Cisco Unified Communications Manager、Cisco IP Telephony Operating System	Unified Communications Manager にバンドル	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Contact Center Express	5.0(1) SR1	7.0(1) SR1	あり	任意
Cisco Unified Contact Center Express、Cisco IP Telephony Operating System	OS 2003.1.1SR4	OS 2003.1.2a SR9	—	—
Cisco Emergency Responder	2.0(1)	7.0(1)	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified Presence	6.0	7.0(1)	あり	任意
Cisco Unity、Unity CM-TSP	5.0, 8.1(3)	7.0(2), 8.3(1)	あり	Unified Communications Manager と同時に Unity TSP をアップグレード  Unified Communications Manager のあとで Unity をアップグレード
Cisco Unity、Microsoft Exchange	Microsoft Exchange 2003 SP2 (Cisco Unity およびパートナー Exchange サーバ上) および Microsoft Exchange 2000SP1 または Exchange 2003SP2 (他のメッセージストア サーバ上)	Microsoft Exchange 2003 SP2 (Cisco Unity およびパートナー Exchange サーバ上) および Microsoft Exchange 2000SP1 または Exchange 2003SP2 (他のメッセージストア サーバ上)	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity、IBM/Lotus Domino <sup>3</sup>	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity Express	3.0(1)	3.2	—	—

表 5-4 Cisco Unified Communications System Release 5.1(1) および Release 7.0(1) リリースセット内の IP テレフォニーコンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 5.1(1) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unity Connection <sup>4</sup>	2.0(1)	7.0	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified MeetingPlace Express	2.0	2.0(3)	あり	任意
Cisco Unified MeetingPlace	6.0	7.0(x)	あり	任意
Cisco Unified Video Conferencing	5.5	6.0	あり	Unified Communications Manager のアップグレード後にフレッシュインストール
Cisco Unified Communications Manager Express	4.1/ IOS 12.4(15)T	7.0/ IOS 12.4(20 )T <sup>5</sup>	あり	任意
Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST)	4.1/ IOS 12.4(15)T	7.0/12.4(20)T <sup>5</sup>	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Multipoint Control Unit (MCU) 3511 および Enhanced Media Processor (EMP) <sup>3</sup>	MCU 4.2.10 / EMP 4.2.8 および 4.2.8.1	未使用 <sup>6</sup>	—	—
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3521 (ISDN BRI) <sup>3</sup>	5.0.0.0.22	5.5.0.0.54	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3526 (ISDN PRI) <sup>3</sup>	5.0.0.0.22	5.5.0.0.54	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3540	4.2.10	4.2.10	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545	5.1.0.0.24 / EMP 5.1.0.0.27	5.1.0.0.24	あり	任意
Cisco 2610XM、2611XM、2620XM、2621XM、2650XM、2651XM、2691 (ルータ)	12.4(15)T	未使用	—	—
Cisco 2801、2811、2821、2851、3825、3845 (ルータ、音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(15)T	12.4(20)T <sup>5</sup>	あり	任意
Cisco IOS Mainline Release <sup>7</sup>	—	12.4(18c)		
Cisco 3745 (ゲートキーパー)	12.4(15)T	12.4(15)T <sup>7</sup> <sup>8</sup>	あり	任意
Cisco 3725、3745 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(15)T	12.4(15)T <sup>7</sup> <sup>8</sup>	あり	任意
Cisco 3725、3745 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(15)T	12.4(15)T <sup>7</sup> <sup>8</sup>	あり	任意
Cisco 3825 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(15)T	12.4(20)T <sup>5</sup>		

## ■ アップグレードリリースバージョン

表 5-4 Cisco Unified Communications System Release 5.1(1) および Release 7.0(1) リリースセット内の IP テレフォニーコンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 5.1(1) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco 7206 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(15)T	12.4(20)T <sup>5</sup>	あり	任意
Cisco Catalyst 3500XL (アクセス スイッチ)	12.0(5)WC17	12.0(5)WC17	あり	任意
Cisco Catalyst 3550 (アクセス スイッチ)	12.2(25)SEE3	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3560 (アクセス スイッチ)	12.2(254)SEE2	12.2(254)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3750 (データ センター スイッチ)	12.2(25)SEE3	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 4506 (アクセス スイッチ)	12.2(25)EWA8	12.2(25)EWA8	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (音声アクセス スイッチ、Supervisor 2 / MSFC2)	CatOS 8.5(8) / 12.2(18)SXF8	Cat OS 8.6.3 / 12.2.(18)SXF9	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (コア スイッチ、Supervisor 720)	12.2(18)SXF8 (ネイティブモード)	12.2(18)SXF9 (ネイティブモード)	あり	任意
Cisco Catalyst Communication Media Module (CMM)	12.4(15)T	12.4(15)T <sup>7</sup>	あり	任意
Cisco Integrated Services Router 1861	未使用	12.4(20)T <sup>5</sup>	あり	任意
Cisco Catalyst 6500 シリーズ Firewall Service Module	3.2	4.0(3) <sup>9</sup>	あり	任意
Cisco Catalyst 6608、6624 (音声ゲートウェイ)	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	あり	任意
Cisco VG224 アナログ電話ゲートウェイ	12.4(15)T	12.4(20)T	あり	任意
Cisco VG248 アナログ電話ゲートウェイ	1.3(1) ES8.2	1.3(1) ES8.2	あり	任意
Cisco ATA 186、188 (アナログ電話アダプタ)	Unified Communications Manager にバンドル	未使用	—	—
Cisco Security Agent — Unified Communications Manager	Unified Communications Manager にバンドル	Unified Communications Manager にバンドル		
Cisco Security Agent — Cisco Emergency Responder	Cisco Emergency Responder にバンドル	Cisco Emergency Responder にバンドル	—	—
Cisco Security Agent — Cisco Unified Contact Center Express	5.0.0.205-3.0.4	5.2	—	—
Cisco Security Agent — Cisco Unity	4.5.1.639-2.0.3	4.5.1.639-2.0.3	—	—

表 5-4 Cisco Unified Communications System Release 5.1(1) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 5.1(1) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Adaptive Security Appliance	8.0(2)	8.0(4)	あり	任意
Cisco Unified Mobility	Unified Communications Manager と統合	Unified Communications Manager と統合	—	—
Cisco Unified Operations Manager	2.0(1)	2.1 <sup>10</sup>	あり	任意
Cisco Unified Service Monitor	2.0.1	2.1	あり	任意
Cisco Unified Provisioning Manager	1.1	1.3	—	Unified Communications Manager をアップグレードする前にインストール
Cisco Unified Service Statistics Manager	1.0	1.0	—	—
Cisco Resource Management Essentials (RME)	4.0.5	4.0.5	—	—
Cisco Unified IP Phone	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Aironet 1200G アクセス ポイント (AP)	12.3(8)JA	12.3(8)JA	あり	任意
Cisco IP Communicator	2.1	2.1.3	あり	任意
Cisco Unified Personal Communicator	1.2(1)	7.0(1)	あり	任意
Cisco Unified Application Environment	2.4	2.5(1)	あり	任意
Cisco Unified Video Advantage	2.0(2)	2.1(1)	あり	任意
McAfee Antivirus	Enterprise 8.0.0 パッチ バージョン : 11	Enterprise 8.0.0 パッチ バージョン : 11	あり	任意
Berbee Informacast Overhead Paging System (OHPS)	5.0(2)	5.0(2)	あり	任意

- このベース リリースの場合、Unified Communications Manager をいったん暫定バージョンの Release 6.1(2) にアップグレードしてから、ターゲットのリリース バージョンにアップグレードする必要があります。
- マルチサイト分散に適用されます。
- EUEM サイト モデルだけでテスト済みです。
- 2008 年第 4 四半期に利用可能になる Engineering Special または Service Release で、[CSCsr83757](#) の障害に対処できます。
- Cisco IOS Firewall のバージョンは 12.4(20)T1 です。
- 「未使用」とは、可用性が欠如している、サポート終了日が過ぎている、そのリリース セットのテスト要件ではないなどのさまざまな理由で、その特定のテスト環境でテストされなかったコンポーネントを示します。
- IOS Mainline Release 12.4(18b) は、IP テレフォニー環境で実行するロールバック テストに含まれる、追加の基本 PSTN 機能および負荷テストに使用されていました。
- Cisco IOS Release 12.4(15)Tx は、Cisco 37xx シリーズおよび Communication Media Module プラットフォームでサポートされる最終リリースです。これらのコンポーネントは Release 12.4(20)T ではサポートされません。
- 2008 年第 4 四半期に利用可能になる予定です。
- [CSCsh72308](#) の障害を修正するパッチが使用可能です。パッチの入手方法については、この障害の回避策を参照してください。

## ■ アップグレードリリースバージョン

## Release 6.1(1) と Release 7.0(1) のソフトウェア リリース セット

表 5-5 に、Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) および Release 7.0(1) の各リリース セット内に存在する IP テレフォニー コンポーネントのソフトウェア バージョンを示します。

表 5-5 Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 6.1(1) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Communications Manager	6.1(1a)	7.0(1)	あり <sup>1</sup>	—
Cisco Unified Communications Manager Business Edition <sup>2</sup>	6.1(1)	7.0(1)	—	—
Cisco Unified Communications Manager、Cisco IP Telephony Operating System	Unified Communications Manager にバンドル	Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Unified Contact Center Express	5.0(2)	7.0(1) SR1	あり	任意
Cisco Unified Contact Center Express、Cisco IP Telephony Operating System	OS 2003.1.1SR4	2003.1.2a SR9	—	—
Cisco Emergency Responder	2.0(3)	7.0(1)	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified Presence	6.0(2)	7.0(1)	あり	任意
Cisco Unity、Unity CM-TSP	5.0, 8.1(3)	7.0(2), 8.3(1)	あり	Unified Communications Manager と同時に Unity TSP をアップグレード Unified Communications Manager のあとで Unity をアップグレード
Cisco Unity、Microsoft Exchange	Microsoft Exchange 2000 SP4 および Microsoft Exchange 2003 SP2	Microsoft Exchange 2000 SP4 および Microsoft Exchange 2003 SP2	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity、IBM/Lotus Domino <sup>3</sup>	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	7.0 (DUC 1.2.3 を併用)	—	Unity アップグレードの一部
Cisco Unity Express	3.1(1)	3.2	—	—
Cisco Unity Connection	2.1(1)	7.0 <sup>4</sup>	あり	Unified Communications Manager のあと
Cisco Unified MeetingPlace Express	2.0(2)	2.0(3)	あり	任意



表 5-5 Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 6.1(1) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified MeetingPlace	6.0	7.0(x)	あり	任意
Cisco Unified Video Conferencing	5.1	6.0	あり	Unified Communications Manager のアップグレード後にフレッシュインストール
Cisco Unified Communications Manager Express	4.1 / 12.4(15)T3 4.2 / 12.4(11)XW5	7.0/IOS 12/4(20)T	あり	任意
Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST)	4.1 / IOS 12.4(15)T 4.2/IOS 12.4(11)XW5	7.0/IOS 12/4(20)T	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3521 (ISDN BRI) <sup>3</sup>	5.0.0.0.22	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing Gateway 3526 (ISDN PRI) <sup>3</sup>	5.0.0.0.22	5.0.0.0.22	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3540	4.2.10	4.2.10	あり	任意
Cisco Unified Videoconferencing MCU 3545	5.1.0.0.24 / EMP 5.1.0.0.27	5.1.0.0.24	あり	任意
Cisco 2610XM、2611XM、2620XM、2621XM、2650XM、2651XM、2691 (ルータ)	12.4(15)T3	未使用	—	—
Cisco 2801、2811、2821、2851、3825、3845 (ルータ、音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(15)T3	12/4(20)T <sup>5</sup>	あり	任意
Cisco IOS Mainline Release	—	12.4(18c) <sup>6</sup>		
Cisco 3745 (ゲートキーパー)	12.4(15)T3	12.4(15)T <sup>7</sup>	あり	任意
Cisco 3725、3745 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(15)T3	12/4(15)T <sup>7</sup>	あり	任意
Cisco 3725、3745 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(15)T3	12/4(15)T <sup>7</sup>	あり	任意
Cisco 3825 (SRTP および Secure SRST ゲートウェイ)	12.4(15)T3	12/4(20)T <sup>5</sup>	あり	任意
Cisco 7206 (音声 / データ ゲートウェイ)	12.4(15)T3	12/4(20)T	あり	任意
Cisco Catalyst 3500XL (アクセス スイッチ)	12.0(5)WC16	12.0(5)WC17	あり	任意
Cisco Catalyst 3550 (アクセス スイッチ)	12.2(25)SEE3	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 3560 (アクセス スイッチ)	12.2(254)SEE2	12.2(25)SEE4	あり	任意

## ■ アップグレードリリースバージョン

表 5-5 Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 6.1(1) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Catalyst 3750 (データセンター スイッチ)	12.2(25)SEE3	12.2(25)SEE4	あり	任意
Cisco Catalyst 4506 (アクセス スイッチ)	12.2(25)EWA7	12.2(25)EWA8	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (音声アクセス スイッチ、Supervisor 2 / MSFC2)	CatOS 8.5(8) / 12.2(18)SXF8	Cat OS 8.6.3 / 12.2.(18)SXF9	あり	任意
Cisco Catalyst 6506、6509 (コア スイッチ、Supervisor 720)	12.2(18)SXF8 (ネイティブモード)	12.2(18)SXF9 (ネイティブモード)	あり	任意
Cisco Catalyst Communication Media Module	12.4(15)T3	12/4(15)T7 <sup>7</sup>	あり	任意
Cisco Integrated Services Router 1861	12.4(11)XW4	12/4(20)T <sup>5</sup>	あり	任意
Cisco IOS Firewall	12.4(11)XW4	12.4(20)T1	あり	任意
Cisco Catalyst 6500 シリーズ Firewall Service Module	3.2.2	4.0(3) <sup>8</sup>	あり	任意
Cisco Catalyst 6608、6624 (音声ゲートウェイ)	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	あり	任意
Cisco VG224 アナログ電話ゲートウェイ	12.4(15)T3	12.4(20)T	あり	任意
Cisco VG248 アナログ電話ゲートウェイ	1.3(1) ES8.2	1.3(1) ES8.2	あり	任意
Cisco ATA 186、188 (アナログ電話アダプタ)	Unified Communications Manager にバンドル	未使用	—	—
Cisco Security Agent — Unified Communications Manager	Unified Communications Manager にバンドル	Unified Communications Manager にバンドル		
Cisco Security Agent — Cisco Emergency Responder	Cisco Emergency Responder にバンドル	Cisco Emergency Responder にバンドル	—	—
Cisco Security Agent — Cisco Unified Contact Center Express	5.0.0.205-3.0.4	5.2	—	—
Cisco Security Agent — Cisco Unity	4.5.1.639-2.0.3	4.5.1.639-2.0.3	—	—
Adaptive Security Appliance	8.0(2)	8.0(4)	あり	任意
Cisco Unified Mobility	Unified Communications Manager と統合	Unified Communications Manager と統合	—	—
Cisco Unified Operations Manager	2.0.2	2.1 <sup>9</sup>	あり	任意

表 5-5 Cisco Unified Communications System Release 6.1(1) および Release 7.0(1) リリース セット内の IP テレフォニー コンポーネント (続き)

シスコ ユニファイド コミュニケーション システム コンポーネント名	Release 6.1(1) リリース セット	Release 7.0(1) リリース セット	Unified Communications Manager 7.0(1) との互換性	アップグレードの順序 (Unified Communications Manager に対して)
Cisco Unified Service Monitor	2.0.1	2.1	あり	任意
Cisco Unified Provisioning Manager	1.2	1.3	—	Unified Communications Manager をアップグレードする前にインストール
Cisco Unified Service Statistics Manager	1.0	1.0	—	—
Cisco Resource Management Essentials (RME)	4.0.5	4.0.5	—	—
Cisco Unified IP Phone	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	Cisco Unified Communications Manager にバンドル	—	—
Cisco Aironet 1200G アクセス ポイント (AP)	12.3(8)JA2	12.3(8)JA2	あり	任意
Cisco IP Communicator	2.1	2.1(3)	あり	任意
Cisco Unified Personal Communicator	1.2(1)	7.0(1)	あり	任意
Cisco Unified Application Environment	2.4	2.5(1)	あり	任意
Cisco Unified Video Advantage	2.0(3)	2.1.1	あり	任意
McAfee Antivirus	Enterprise 8.0.0 パッチバージョン : 11	Enterprise 8.0.0 パッチバージョン : 11	あり	任意
Berbee Informacast Overhead Paging System (OHPS)	5.0(2)	5.0(2)	あり	任意

1. マルチサイト分散に適用されます。
2. 中間市場ビジネス モデル専用
3. EUEM サイト モデルだけでテスト済みです。
4. 2008 年第 4 四半期に利用可能になる Engineering Special または Service Release で、[CSCsr83757](#) の障害に対処できます。
5. Cisco IOS Firewall のバージョンは 12.4(20)T1 です。
6. IOS Mainline Release 12.4(18b) は、IP テレフォニー環境で実行するロールバック テストに含まれる、追加の基本 PSTN 機能および負荷テストに使用されていました。
7. Cisco IOS Release 12.4(15)Tx は、Cisco 37xx シリーズおよび Communication Media Module プラットフォームでサポートされる最終リリースです。これらのコンポーネントは Release 12.4(20)T ではサポートされません。
8. 2008 年第 4 四半期に利用可能になる予定です。
9. [CSCsh72308](#) の障害を修正するパッチが使用可能です。パッチの入手方法については、この障害の回避策を参照してください。

■ アップグレードリリースバージョン